

医療と社会

M1-90029L1

1 ユニットの概要

「医療と社会」で重視する学びは、前期「クリティカル・シンキング」と共通しており、「人間と社会・地域をよく知り、多様な人と良い関係で協働できる医師・人に成長する学び」である。また、「医療と社会」が重視するのは、「医学専門の知への接続としても有意義な学びとなる人文や社会の知の修得」である。

社会のなかの医療と健康に関して、人間・人生や他者との関わりに関して、より広く、より深く、理解することに役立てられる学びの機会として、この授業をイメージするとよいと思います。わたしはそのような学びの場となるように全力で取り組みます。そして、あなたが積極的に授業での学びに関わることを望みます。

医療や医師が関わるものは、広範に、様々に、社会の影響を受け、また、社会に貢献するものである。医師には、「自然科学・生物医学」の観点だけでは見えない現実や問題に関わる機会も、多い。医師が会う「患者」という面がある人のひとりひとりに、人生や社会的な事情があること、そしてその人の近くで関わる人たちもまた社会の中に生きるひとりひとりであることをよく知ることも、「社会のなかの医療と健康」の学びにとって重要である。

したがって、医師や医学生が、以下に列举するような話題や研究になじみ、理解を深めることは、これからの社会の医療にとって有用である。医師や医学生が、それらの知識や先行研究を学び、その知を生かした「医療、健康政策、地域・地域住民のヘルスプロモーションなどの考え」を的確に他者に伝えたりそれについて対話したりできるようになることは、今後の社会での「医療活動」「人の生や健康の状態がより良くなること」にとって有用である。

- 社会的なものと健康の関係、健康の社会的決定要因（SDH）、貧困、SES、ソーシャルなサポート
- プライマリ・ケア、健康格差、グローバルな見方
- 諸国の医療運営、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、医療と社会保障の関係
- 健康や病の意味・価値、多様性、エンパワーメント、支援
- 健康や病に関する意思決定・選択、ナッジ、パターンリズム
- 医療・健康・福祉に関連する政策・制度や人文学・社会科学
- 地域住民のヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み
- 質調整生存年（QALY）、医療技術評価（HTA）、道徳的観点、医療・健康に関する分配的正義

あなたは「医療と社会」の授業で、大学1年生という早い時期から、「社会のなかの医療」「健康・病・生き方と社会の関わり」「地域医療」「プライマリ・ケア」「医療・保健・福祉などに携わる医療従事者に有用な社会科学・哲学」「対話」などに注目する様々な知を、本格的に学ぶことができる。また、問題発見、問題解決、政策などのクリティカルシンキングにも（一人で、もしくは複数人で）取り組むことができる。

「医療と社会」の授業参加者には上記の様々な知との関わりが求められるが、それは、自分ひとりに閉じた学びにとどまらず、「的確に解説できるような仕方で、また、将来の社会や医療で知を役立てられるような仕方で」知識を身につけることも重視する学びである。こうした学びの一環として、複数回の授業で、提出課題を活用する機会もある。積極的に取り組んでほしい。「各自が関心のある国や地域の、医療運営の歴史と現在」や「各自が関心のある地域の、ヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み」について検索し、適切な情報整理と考察・評価を行い、それらを示し合い、さらに考える、そういう学びの機会である。

毎回の授業への参加、ていねいな予習・復習、積極的な自学自習を求めたい。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術（診療の実践）
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 授業内容をよく理解し、それを的確に解説することができる。（①、②、④、⑤、⑥）
- 「社会のなかの医療と健康」の深い理解に役立つ先行研究や社会科学・哲学の知識もよく理解し、それらを医療や健康政策の問題（問題発見、問題解決の考察）に活用することができる。（①、②、④、⑤、⑥）
- いくつかの地域・国の医療運営の成り立ちと現在の取り組み、ヘルスプロモーション・健康格差問題の対策、それらの根拠になっている規範や科学的知見などを知り、それらについて対話し、考察し、将来どうあることが良いかの見解を述べることができる。（①、②、④、⑤、⑥）

4 方 略

講義の理解、資料読解、演習（授業内のワーク、ホームワーク）、これら全てを重視して、学ぶ。

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	講義や読書資料の理解、また、その理解にもとづいて解説することの的確さ	知識・技能	
	ワーク・課題の取り組みと成果の良さ、問題発見・問題提起と考察の論述の良さ	知識・技能・態度	
	授業参加と貢献の程度（他の学生との協力や、良好な環境形成への協力を含む）	知識・技能・態度	
総括的評価	試験成績	知識・技能	60%
	演習成績（課題の評価、ミニットペーパーの評価、授業参加と貢献の評価など）	知識・技能・態度	40%
		合 計	100%

（特記事項）全ての課題の提出が必須である。提出期日を過ぎ、大幅な減点対象となることが分かっているにもかかわらず、それを提出しないままでは「総括的評価（合計）」は60点を越えない。また、ホームワークや課題の作成ルール違反の提出には厳しく評価・指導する。

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：20 分、復習：40 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

授業で学んだキーワードや知識の解説、課題や読書資料の要約が的確にできているかということについては、講義で全体に対して解説する。その際、数名の学生の解答や提出物を（実名もしくは匿名で）例示し、それにコメントや補足解説をすることでフィードバックとすることもある。また、教員が学生にするフィードバックが常に最も効果があるということではなく「学生どうしのコメント」や「セルフチェック」が有用な場合も多い。適宜それらを使い分ける。

9 教育担当者

ユニット責任者：菊地 建至 一般教育機構 医療人文学

担当教員：菊地 建至 一般教育機構 医療人文学

10 参考図書・文献

授業で配布されるレジュメや読書資料を精読することが重要である。また、授業でそのつど、参考書や自学自習の情報を提供するから、積極的にそれらにも取り組むとよい。下記の5冊のうち1冊でもいいから、開講前から全体に目を通して読んでくことを勧める。

- 1 孫大輔 [2018] 『対話する医療——人間全体を診て癒すために』 さくら舎
- 2 近藤克則 [2017] 『健康格差社会への処方箋』 医学書院
- 3 日本プライマリ・ケア連合学会[監修] [2023] 『実践 SDH 診療——できることから始める健康の社会的決定要因の取り組み』 中外医学社
- 4 ルース・リスター [2023] 『新版 貧困とは何か——概念・言説・ポリティクス』（松本伊智朗[監訳]） 明石書店
- 5 マイケル・マーモット [2017] 『健康格差——不平等な社会への挑戦』（栗林寛幸[監訳]） 日本評論社

第1学年

医療と社会

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	10月27日（火）	6	講義	授業ガイダンス、「医療と社会」イントロダクション、「社会的なものと健康の関係」「プライマリ・ケア」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	2	10月29日（木）	5	講義	「社会的なものと健康の関係」「社会保障」「社会保険」「SES」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	3	10月29日（木）	6	講義	「ケア」「支援」「その人にとっての病の経験や意味」「選択」「対話」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	4	11月05日（木）	5	講義	「諸国の医療運営・社会保障の歴史と現在」「UHC」等に関する映像資料を見て、知識も得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	5	11月05日（木）	6	講義	提出課題を活用する授業(各自が関心のある地域住民の健康・ヘルスプロモーションのための取り組み)、「医療技術評価 (HTA)」の入門講義	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-02-01-02,GE-04-01-01,GE-04-01-07,GE-04-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	6	11月12日（木）	5	講義	「諸国の医療運営・社会保障の歴史と現在」「UHC」等に関する映像資料を見て、知識も得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	7	11月12日（木）	6	講義	「グローバルな貧困や健康格差への対応」「道徳的観点でのコスモポリタニズム」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	8	11月19日（木）	5	講義	「健康の価値」「ナッジ」「健康・ヘルスプロモーションのための取り組み、健康格差の問題解決のための取り組み」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-02-01-02,GE-04-01-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	9	11月19日（木）	6	講義	提出課題を活用する授業(各自が関心のある国・地域の医療運営の歴史と現在)	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	10	11月27日（金）	2	講義	ユニット試験(本試験)の準備になる復習講義、これまでの授業内容とクリティカルシンキング	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	11	11月27日（金）	3	講義	「QALY」「健康関連QOL」「増分費用効果比」「医療技術評価」「医療・健康に関する分配的正義」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	12	12月04日（金）	2	講義	ユニット試験(本試験)の準備になる復習講義、これまでの授業内容とクリティカルシンキング	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	13	12月04日（金）	3	講義	「QALY」「健康関連QOL」「増分費用効果比」「医療技術評価」「医療・健康に関する分配的正義」等に関する知識を得て、考える	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	14	12月11日（金）	2	講義	これまでの学びを十分に生かした提出課題を活用する授業、「これまでの学びのさらに先へ」	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	15	12月11日（金）	3	講義	これまでの学びを十分に生かした提出課題を活用する授業、最後の話 ＊全15回のなかで適宜、クリティカルシンキングを意識した講義も行う。	PR-01-02-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-02,GE-01-03-02,GE-02-01-02,GE-04-01-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後		12月12日（土）	2	試験	ユニット本試験		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後		12月12日（土）	3	試験	ユニット本試験		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授